

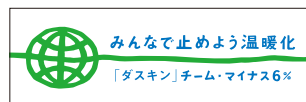
株式会社 **ダスキン**

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
TEL.06-6387-3411 (代表)

www.duskin.co.jp

身近に、未来に、エコのタネまぎ。

Green Report 2008



ダスキンの環境宣言

身近に、未来に、エコのタネまき。

おそうじ用具のレンタルからはじまり、
ものを大切にしてきたダスキンは、
地球の未来を大切にするため、

くりかえし使う・みんなで使う・減らす・捨てない、
これらの視点で、商品・サービスの開発、
生産、お届けから使用後までの
企業活動のすべてを見直し、さらに取り組みを進めます。

「喜びのタネまき」の精神に、エコのタネをのせて。
ダスキンは、身近なところから未来にむかって、
エコロジーを育てていきます。



ダスキン環境方針

私たちダスキンは、環境保全と企業経営の両立に全力で取り組み、
生産から使用後まで、安全で安心、環境保全に配慮した商品・サービスを提供します。

(1) 環境負荷が少ない商品・サービスの設計・開発・選択

原材料の調達から商品の製造、お届け、お客さまによるご使用、使い終わった後の回収再生や処分まで、すべての段階に配慮し、安全・安心で環境負荷低減に貢献する商品・サービスを開発し採用します。商品や資材の循環活用を推進し、資源のもつ価値を十分に活用します。

(2) 環境負荷が少ない工場稼働

省資源で省エネルギーな工場稼働に努めます。
廃棄物や環境負荷となる排出を抑制すると共に、排出物のリサイクルや有効活用を推進します。公害や事故を発生させない工場稼働に努めます。

(3) 環境負荷が少ない物流と営業・販促活動

ムダのない、効率的な商品流通・物流と営業活動に努めます。
車両活用に伴う排ガス汚染の軽減、CO₂排出の削減に取り組みます。
環境保全に、より優れた商品・サービスの積極的販売を推進します。

(4) 環境負荷が少ないオフィス活動や施設・設備

省資源で省エネルギーなオフィス活動を推進します。
グリーン購入により、環境負荷の低い物品の活用を推進します。

(5) 環境負荷が少ない社会づくりへの貢献

法令や規律を守ると共に、環境保全を推進するための社会施策や要請に積極的に協力し、自らも貢献できる施策を検討し、実践します。

ごあいさつ

これからもダスキンの事業活動は
エコロジー活動であり続けます。

創業以来45年間、ダスキンでは、レンタルによりくりかえし商品をお届けしている
クリーンサービス事業をはじめ、ケアサービス事業やフードサービス事業など、
さまざまな事業分野において「くりかえし使う」「ものを大切にする」ことを根幹に置き、
再利用、使う量を減らす、捨てる量を減らすことに取り組んでおり、
また、お届けするサービスによって、ものが豊かになるだけではなく、
心の豊かさにもつながるよう社会へのお役立ちを目指しております。

社会では、経済活動や生活様式が大きく変化し、
企業活動が自然環境との調和を保てなくなり、
地球環境に大きな影響を及ぼしはじめております。
環境保護は、すべての企業が取り組まなければならない重要な社会的責任です。

当社の経営理念に掲げた“喜びのタネをまこう”のスローガンは、
商品・サービスの提供を通じ、社会に喜ばれる企業活動を
実行していこうという願いが込められております。
この喜びのタネまきの精神に、エコのタネをのせ、
グループ一丸となって、身近で実現できることから
着実にエコロジー活動に取り組んでまいります。

当社は、企業活動を通じ、未来の子どもたちに
ものを大切にする心と豊かな自然を引き継いでまいります。

代表取締役社長

伊東 英章

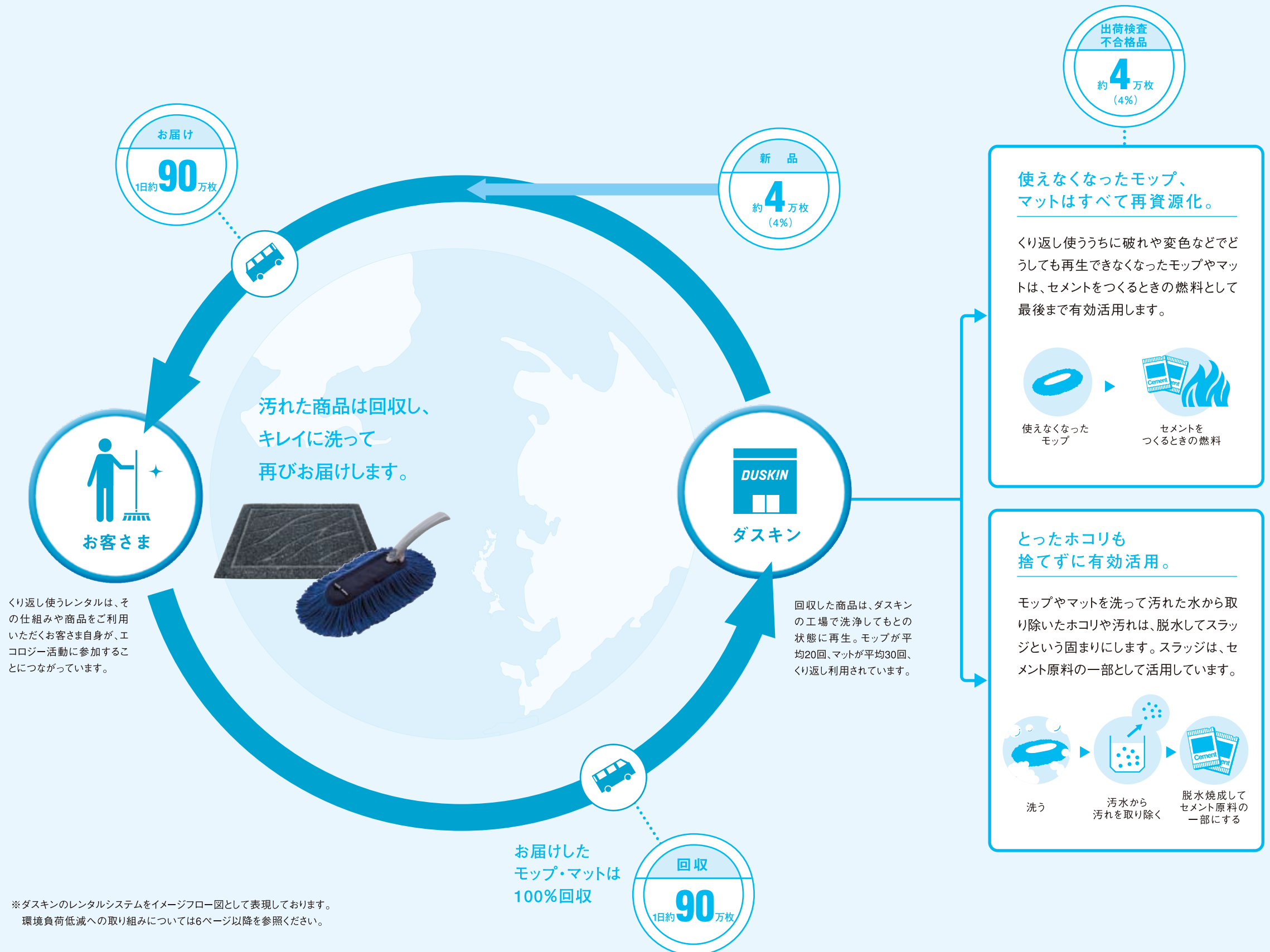


くり返し使う・最後まで使い切るレンタルが、ダスキンの基本です。

ダスキンでは、1963年の創業時から、モップやマットなどお掃除関連を中心としたレンタル商品を、全国のフランチャイズチェーン店を通じてお客さまに定期的にお届けしています。ご使用済みの商品は回収、工場で洗浄してもとの状態に再生し、再びお客さまのもとへお届けします。

お届けするモップやマットは、1日約90万枚にのびます。販売すると二度と返ってくることはない商品ですが、ダスキンでは100%回収。その96%が工場ですべて再生され、お客さまに届けられます。どうしても再生できない4%の商品もすべて再資源化し、最後まで大切に使い切ります。

モップやマットに付いたホコリや汚れも無駄にしません。資源化して有効活用しています。



エコライフをさらにお手伝いする
さまざまな商品を揃えています。

資源を有効活用する商品

ダスキンは限りある資源を有効に使い、ゴミを減らす商品をお届けしています。



レンタルマット

事業所用の一部のマットなどに、再生ペットボトル繊維を使用しています。2006年からは、ペットボトルだけでなく使用済みユニフォームやエアバッグの複数の再生繊維をパイル(布地)全体の50%以上に使用した「エコリサイクルマット」が加わりました。



レンタルモップ

繊維製品の紡績工程で発生する短繊維などの「未利用繊維」は従来は廃棄されていた部分です。この「未利用繊維」を使用した「ノンオイルモップ・エコ」を2005年度から、「事業所用モップ・エコ」を2006年度から商品化しています。



工場用レンタルウエス

創業時からの家庭用ダストクロス「ニューホームダスキン」は商品としての寿命が尽きたあとも工場用のウエスとして生まれ変わります。



レンジフードフィルター

「レンジフードフィルター不織布タイプ」の不織布部分は、とうもろこしからつくられた繊維が主素材です。



活性炭脱臭パック

ダスキン浄水器の使用済み活性炭をリサイクルした商品です。



浄水器 芳香器 空気清浄機

一部商品では、カバー部分などに再生樹脂を使用しています。



トナーカートリッジ・リサイクルサービス

使用済みカートリッジを回収し、厳しい品質管理システムでリサイクルしたものをお届け。不用パーツは再資源化し再利用しています。

環境への負荷を減らす商品

家庭排水を汚さない商品、省資源に役立つ商品など、レンタルモップやマット以外の商品も環境に配慮。使用することで、環境への負担を減らすことができます。



天ぶら油ろ過器「油っくりん」

活性炭フィルターがニオイ、ニゴリまでしっかりろ過し、油を長持ちさせます。くり返し使えるので廃油の量も減らせます。



洗剤類

自然に分解されやすい生分解性の高い界面活性剤を使用した洗剤類。主原料は天然成分で、安全性が高い成分を厳選して使用しています。



スポンジ・ふきん商品

洗剤に頼らなくても、水にぬらして軽くこするだけでガンコな汚れを落とすことができます。

モップ、マット以外の商品でも
回収・再資源化をすすめています。

マットや、モップのパイルなどのレンタル繊維製品だけでなく、使用済みのモップハンドルや空気清浄機本体、浄水器本体、キャビネットタオル本体などを回収して分解、再資源化する取り組みを全国で行っています。

対象商品はそれぞれのお店が責任を持って回収した後、工場を経由し専門業者に送られます。送られた商品は一品一品分解・解体され、ほぼ100%再資源化されています。



一品一品おもに手で分解・解体し、素材やパーツごとに分別され、再生素材として再資源化されます。

回収・再資源化実施商品



環境家計簿を通じて 社員自らエコ意識を高めています。

環境にやさしい商品やサービスをお届けするためには、「まず自分たち自身が環境への意識を高め、CO₂排出量削減に取り組もう」と、2005年度から営業部門の社員とその家族が「環境家計簿」をつけています。参加者は2005年201人が2007年は736人と、3.7倍に。CO₂削減効果は2005年度約76トンが2007年度は約161トンと、参加者の増加とともに増えています。今後も活動の輪を広げて取り組んでいきます。



「子どもと環境について話ができた」。子どもと一緒に環境家計簿を作成する社員。

商品をお届けするときも 環境への配慮を忘れません。

商品の配送は、排気ガスをできるだけ減らす運転を心がけるなど、環境に配慮しています。低公害車の導入も順次すすめており、主力営業車をすべて天然ガス車に切り替えたモデル店が「平成18年度関西エコオフィス奨励賞」を受賞しました。お店と工場を結ぶトラックも天然ガス車に切り替えて工場～お店～お客さまという環境にやさしい配送モデルを作り上げたことなどが評価されました。



「平成18年度関西エコオフィス奨励賞」をいただいたダスキン桜川支店。この賞は関西広域機構が「関西エコオフィス宣言」の参加オフィスなどから特に優れた取り組みを行っているオフィスを選定・表彰したものです。

2008年10月現在、51台の天然ガス営業車が全国で活躍しています。

レンタルを支える工場でも 環境への負荷を減らしています。

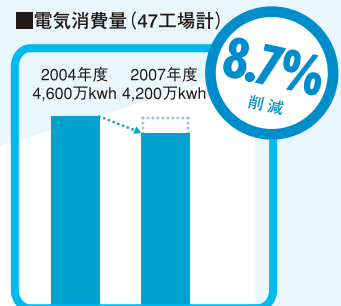
ダスキンの循環型のレンタルシステムを支えているのは、回収したモップやマットを洗浄、再生して再び商品としてお店に発送する全国47の工場です。工場では、水やエネルギー、廃棄物削減など、環境への負荷をできるだけ減らして、資源の有効活用に取り組んでいます。



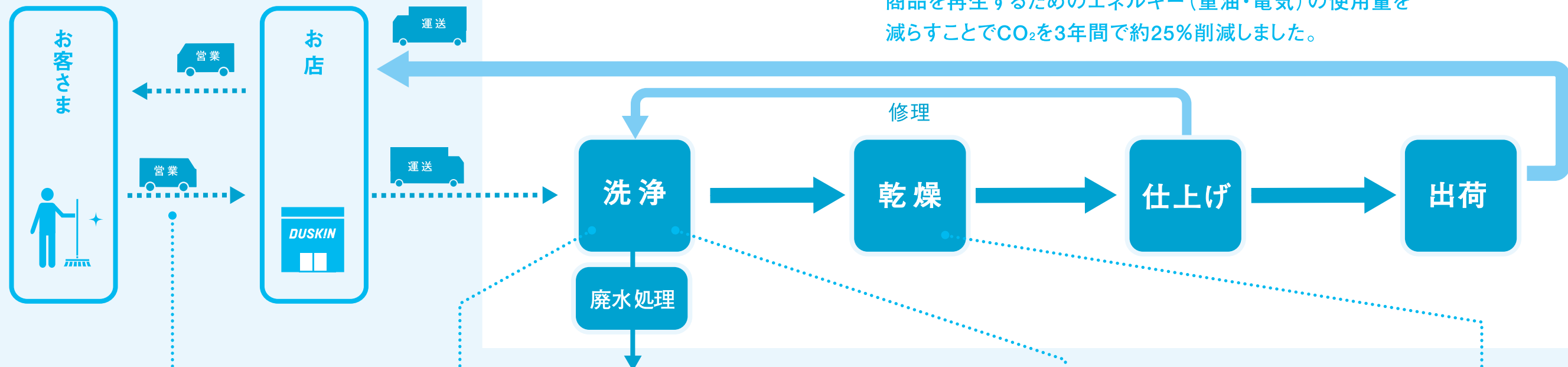
大阪中央工場

工場全体の電気消費を削減

省エネ対応型乾燥機の導入、工場従業員の環境意識の向上、各種設備の効率的な運転などの取り組みにより、電気消費量の削減が進んでいます。さらなる省エネ設備の開発をすすめていきます。



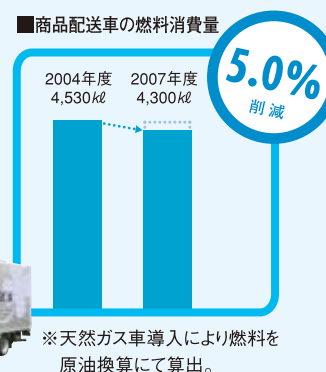
商品を再生するためのエネルギー（重油・電気）の使用量を減らすことでCO₂を3年間で約25%削減しました。



洗浄で汚れた水はキレイに浄化してから放流されます。法基準よりもさらに厳しい自主基準値を設定し管理することにより、残留する汚れ成分の総排出量を減らしています。

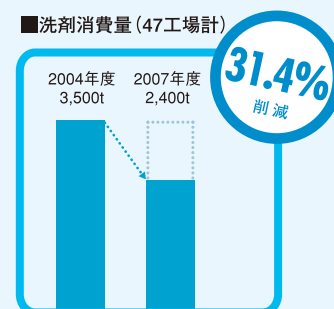
低公害車導入で燃料を削減

お客さまに商品をお届けする営業車や配送トラックの低公害車導入を積極的に進めています。さらに輸送ルートの効率化による車両削減や、アイドリングストップなどエコドライブの推進により、燃料消費量の削減に努めています。



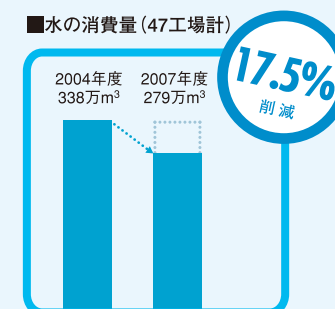
水の特殊処理で洗剤を削減

洗浄用の水を特殊処理することで、洗剤使用量を3年間で31.4%削減しました。洗剤削減により廃水を処理する負荷が大幅に軽減されスラッジ※の発生量も約20%削減されました。



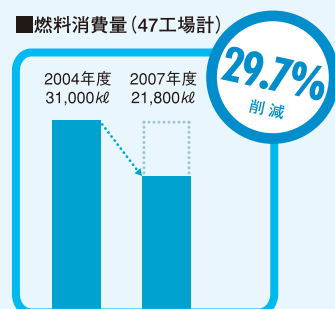
水のリサイクルで使用量を削減

洗浄に使用する水は、通常処理を経て河川や下水道に流されますが、特殊な処理をすることにより洗浄水として繰り返し使用。水の使用量を大幅に減らすことができました。



省エネ乾燥機で燃料を削減

省エネ対応型の乾燥機の導入を進め、全加工能力の70%まで普及しました。既存機に対して、新規開発機は燃料消費量を約50%削減、既存機の省エネ改造タイプでは約30%削減することができました。



大切な財産や資源を長持ちさせる プロの技術をお届けします。

ダスキンは、プロの技術で快適な環境づくりをサポートするサービスを1970年代より、他社に先駆けてご提供しています。

ものを大切に、キレイに使えば長持ちし、ゴミの量を減らすことができます。ご家庭やオフィス、お店などの清掃や、エアコンをはじめとした電化製品などを、清潔で快適にリフレッシュし、長く使っていただけるように、環境に配慮した最先端の技術を積極的に取り入れ、展開を広げています。エアコンなどの汚れを除去することで熱効率もアップし、省エネルギーにも役立ちます。

各種先進サービスの導入展開

1971年	サービスマスター事業スタート
1988年	ターミニックス事業スタート
1989年	メリーメイド事業スタート
1991年	他社に先駆けてエアコンクリーニングサービスを開始
1999年	トウルグリーン事業スタート
2001年	環境維持サービス関連事業でISO14001認証取得
2002年	床面メンテナンスにUHSシステム導入
2003年	他社に先駆けて全自動洗濯機クリーニングサービスを開始

エアコンクリーニング

エアコンに付着したホコリや汚れは冷暖房の性能を低下させ、劣化を早めます。エアコンクリーニングをすると機器の負担が軽くなり、本来の性能が回復して快適な温度になるまでのスピードもアップ。電気の無駄も省けます。



レンジフードクリーニング
内部にこびりついた油汚れを徹底的に洗浄。



カーペットクリーニング
毛足の奥の汚れまで除去し、よみがえらせます。

ハードフロアクリーニング・UHSシステム



仕上げ剤として樹脂ワックスを塗布した床を定期的に高速バニッシャーで磨いて光沢を復活させます。毎回ワックスの塗布が必要な従来のサービスに対し、ワックスの使用量を35%削減できるとともに、洗浄汚水を最小限に抑えます（年間12回実施した場合）。

全自動洗濯機除菌クリーニング
専用機材で洗濯機内部を洗浄・除菌。

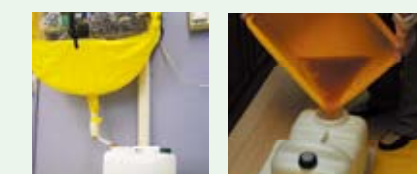
ユニフォームをリサイクル

2006年よりユニフォームのリサイクルシステムを導入しました。着古したユニフォームは回収して再生工場へと送られ、建設用・作業用資材としてリサイクルされています。



サービスで出た汚水も適切に処理します。

床ワックスのはく離、エアコンクリーニングやレンジフードクリーニングなどでは、発生する汚水の管理にも配慮しています。お客さま先では、環境上安全な排水経路を確認するとともに、必要なときには洗剤や汚れを多く含む汚水をお店に持ち帰り、適切な処理を行ってから排水しています。



ポリタンクを持参し、必要に応じて汚水を持ち帰ります。



花と庭木のお手入れサービス
トウルグリーン



プロのお掃除サービス
サービスマスター



家事代行サービス
メリーメイド



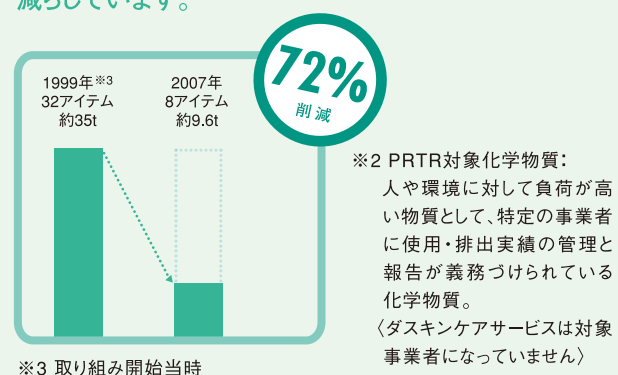
害虫駆除と予防サービス
ターミニックス

薬剤を減らして効果を高める 技術開発に取り組んでいます。

ご家庭やオフィス・お店のお掃除や害虫駆除、庭木のメンテナンスなどのサービスでは、サービス内容の性質上、洗剤をはじめとした各種薬剤を使用する機会が多くなります。

ダスキンでは、「薬剤」と「施工方法」の両面から、人や環境への安全性を向上させる取り組みを続けています。

お掃除サービス用薬剤のPRTR対象化学物質※2を減らしています。



薬剤等の安全性向上への取り組み

1999年	シロアリ駆除・防除にセントリコン・システム導入
2001年	ゴキブリ駆除にベイトシステム導入
2003年	害虫駆除薬剤(殺虫剤類)の脱有機リン剤化※1 ワックスはく離作業時の汚水持ち帰りを開始
2004年	アレルギー原因の可能性として厚生労働省が指定した13物質の薬剤配合全廃 お掃除サービス用洗剤の無リン化完了
2005年	合成洗剤を使わないエコおそうじをサービスメニューとして導入
2006年	植栽管理の土壌灌注システム導入

※1 マイクロカプセル製剤タイプの1種を除く



資材容器の削減

サービスマスターでは、薬剤(18リットル入り)のポリ容器や金属缶を、廃棄部分が少なくリサイクルしやすいバッグインボックスに切り替えています。



薬剤をまかない害虫駆除をめざしています。

害虫駆除では、殺虫剤を大量に散布する従来の施工方法ではなく、「薬剤をまかない」施工への切り替えを進めています。害虫の有無やその進入経路などをチェックし、必要になった時、少量の駆除用薬剤を設置することで、薬剤の使用量をできるだけ抑えています。

ゴキブリ駆除で採用する
総合害虫管理(IPM)の3つのポイント

- ① **【予防】**
施設内における害虫の発生、生息に
くい環境を整える
- ② **【判断】**
定期的に害虫の発生、生息を観察し、
防除の要否を判断
- ③ **【防除】**
対策が必要と判断されたら、安全で適切な
手段で防除

ゴキブリ駆除「ゴキブリ・ベイトシステム」

ターミニックスでは、ゴキブリ駆除に環境保全型の総合害虫管理(IPM)システムを日本でいち早く取り入れ、薬剤を散布しないベイト工法(ベイトシステム)を採用しています。薬剤を散布しないのでニオイもほとんどなく、食器や調理器具などに薬剤が付着する危険もありません。薬剤の使用量は、散布の場合の30分の1以下に抑えられます。

専門担当者が生息場所と繁殖状況を調査。駆除が必要な場合、まずバキューム(吸引)により薬剤を使わずゴキブリを駆除します。



特定の場所だけに少量の薬剤を混ぜたエサ(ジェル状ベイト剤)を設置し、駆除します。

エコおそうじ

合成洗剤を使うと肌へのトラブルが心配なお客さまや、小さなお子さまがおられるご家庭、床をなめるペットが心配なお客さまなどのために、合成洗剤を使わないお掃除サービスをご用意しています。重曹やクエン酸、石けんなど身近で安全な材料を使ってお掃除をするこの方法は、メリーメイドと、サービスマスターの事業所日常清掃サービスで行っています。



エコおそうじで使う材料は、昔から生活の中で使われてきたものばかり。食品や入浴剤にも使われ自然の中ですぐに分解されるため、環境への負担も小さくてすみます。

シロアリ駆除・防除「シロアリ・ベイトシステム」

ターミニックスのシロアリ駆除では、床下などに殺虫剤を散布する方法から、シロアリの成長を阻害する成分を微量添加したエサ(ベイト剤)を食べさせて、巣ごと根絶するベイト工法※の普及を進めています。調査と定期点検による予防管理に重点を置き、薬剤の使用はできるだけ少量に抑えています。

※ベイト工法は、ダウ・アグロサイエンス・エル・エル・シーの「セントリコン・システム」を採用しています。

シロアリが好むエサ(木片)を地面にセットし、定期点検でシロアリが見つかった場合は、ベイト剤に交換します。専用容器に入れて地面に埋め込むため、人やペットが触れるおそれはほとんどありません。



飛翔害虫駆除システム

薬剤を使用せず、紫外線ランプで虫を誘引して、粘着性の捕虫紙で捕獲するターミニックスの害虫駆除サービス。飲食店などの防虫管理に役立ちます。



樹木の年間お手入れサービス

トウルグリーンの樹木の年間お手入れサービスでは、薬剤を散布せずに直接土壌に注入することで、不要な箇所に薬剤が飛び散らず、使用量も減らす取り組みを進めています。



再利用とリサイクルで 使い捨てないエコを進めています。

ミスタードーナツは、心を込めた手づくりのドーナツと「使い捨てない」エコロジーなお店をお客さまをお迎えしています。創業初期から、お客さまにも地球にも愛されるお店であり続けたいと願い、本格的なコーヒーを使い捨てない陶器のカップでご提供。いつもできたて、新鮮なドーナツを多彩に揃えると同時に、製造管理を徹底し、ドーナツの廃棄個数を削減する努力も続けています。2001年度からは、閉店時に陳列されているドーナツを回収し、資源として有効に生かす取り組みも行っています。

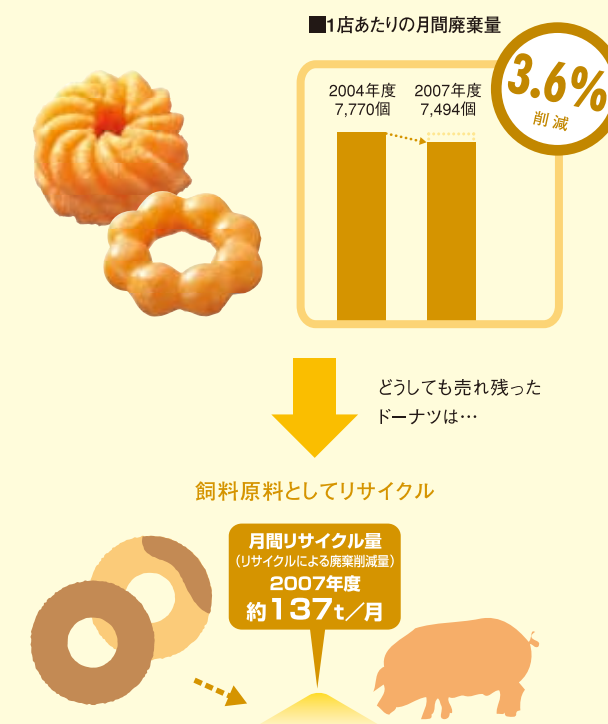


閉店時陳列ドーナツの廃棄削減とリサイクル

ドーナツの廃棄個数を削減するため、全国のショップでは製造スケジュールの見直しや廃棄チェックリストによる管理を徹底して行っています。2007年度には、2004年度と比べて1店当たり月間平均276個削減しました。また、閉店時に売れ残ったドーナツは回収し、飼料化処理工場で原料化・液状化してそのまま飼料原料としてリサイクル。このシステムは現在、関東エリアの約365店で稼働、今後さらに取り組みエリアの拡大を予定しています。



製造管理を徹底し廃棄個数を削減



廃油は100%リサイクル

ドーナツを調理した油（年間約950トン）はすべて回収。飼料や、ゴムなどの工業用原料として100%リサイクル活用しています。その一部は液体石けんにリサイクルし、ショップの洗剤として利用しています。



2007年12月より低トランス脂肪酸オイルを全国のショップに導入。伝統のおいしさを変えることなく、ドーナツ1個あたりのトランス脂肪酸を平均83%低減しました。

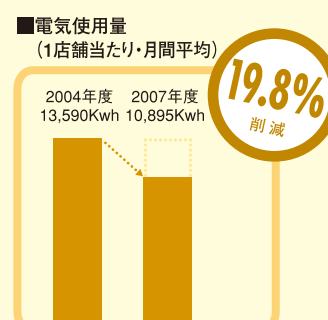
食器は使い捨てずに再利用

創業初期から、使い捨て紙製品ではなく、おもに陶器やガラス製を使っています。紙製を使った場合と比べて、年間700トン以上の紙の使用量削減につながっています。



ショップの省エネに努めています。

ショップでは日々、水道光熱メーター管理やこまめな消灯などによって、省エネ活動を実施。2004年度に比べ約20%の電気使用量を削減しました。また、店舗の改装と合わせ、導入前に比べ8%の電気使用量を削減する省電力型店舗設備の導入を進めています。



必要な時だけ使うレンタルで みんなで使うエコをご提案しています。

生活、トラベル、イベント用品などのレンタルショップ・ダスキントールでは、「みんなが購入」せず「みんなで使う」ことで限りある資源を有効に使うエコを提案し続けています。買わないことは捨てないですむということ。中古品の販売も行い「使わなくなった人から使う人へとリレーしていく中継地点」としての役割も果たしています。

さらに、介護・福祉用具の専門店「ヘルスレント」を展開し、高齢社会のニーズに合わせた福祉用具をレンタルで提案しています。



介護・福祉用具のレンタルで、サービスの幅を拡大。

福祉用具はご利用者さまの身体状況、生活環境、ご要望に合わせて利用することが大切です。また、日々変化するご利用者さまの症状に合わせて福祉用具も変えていく必要があります。レンタルの仕組みは、このような場合でも柔軟に対応ができます。介護・福祉用具の専門店「ヘルスレント」では、ご利用者さまや介助の方が使いやすい用具をレンタルで提供することで、資源の有効活用に貢献しています。



レンタルによる省資源

一つの商品をみんなで使うことで資源の活用効率が大幅に向上します。例えばダスキントールでは、ベビーベッドだけでも年間約24,000台※1ご利用いただいています。仮にこのベッドをお客さまご自身でご購入されると、約24,000台分の資源が必要になりますが、実際には約11,000台※2ですんでいます。つまり、13,000台分（約54%）の資源が使われずにすんでいるということ。

身近なことからはじめるエコロジー。私たちは赤ちゃんの未来のためにも地球への負担を減らしていきたいと考えています。

※1 2007年4月～2008年3月レンタル台数

※2 ベビーベッド保有台数



商品発送時の段ボール削減

宅配便を利用してレンタル商品をお届けする際の商品梱包用段ボール箱を、くり返し使用できる専用袋に切り替え、段ボールの使用量削減に取り組んでいます。また、物流センターから各店舗へ商品を配送する際の梱包材も、くり返し使用できるプラスチック製の通い箱に切り替え、同時に梱包材の削減を実現しています。このことで商品の保護もより強化され、梱包作業の軽減にも貢献しています。



使わなくなったら買い取る「販売&買い取りサービス」

新品を特別価格で販売し、不要となった時点で買い取ってレンタル品や中古品販売に活用する「販売&買い取りサービス」をベビー用品を対象に行っています。「レンタルしたいけど、新品がいい」「使わなくなったベビー用品の処分が大変」というお客さまのニーズに応えたサービスとして好評を得ています。



消費者・お客さま

①新品を販売
②買い取り

ダスキントール
ショップ

DUSKIN

メンテナンス・修理

③買い戻した商品は、レンタル品・中古品として活用されています。

レンタル商品を多数取り揃え

ダスキントールでは、「ベビー用品」「トラベル用品」「ホーム用品」「イベント用品」など、さまざまなアイテムを取り扱っています。街のレントオールショップやホームページ「かしてネット」を通じてレンタルできます。



「かしてネット」
<http://www.kasite.net>

地域との環境コミュニケーション

工場見学キャラクター「クリンくん」。

小学生対象の工場見学会
「キレイ学院」開校中



洗浄・再生を繰り返して使うダスキンのレンタルシステムを通じて、“ものを大切にすること”と“環境保全の重要性”を、そして“お掃除の大切さ”を伝えたい。そんな思いから、横浜中央工場と大阪中央工場では小学生を対象にした工場見学を実施。子どもたちを「キレイ学院」の生徒として迎え、工場の仕組みを紹介するクイズや汚れた水からホコリや汚れを取り除く実験などを交えて、楽しく体験・学習する機会を設けています。2006年からは、一般の方々を対象にした見学コースも設けています。



モップがキレイになる仕組みなどをわかりやすく紹介した「パスポート」をテキストに、子どもたちが楽しみながら環境のことを学べるよう工夫しています。



ゴミ拾いで街をきれいに
クリーンアップマイタウン

ダスキンでは創業以来、全国の事業所や工場、お店の周辺で定期的な清掃活動を行っています。「クリーンアップマイタウン」は、地元の方々にも清掃活動にご参加いただき一緒に街をキレイにできれば、という思いから企画したお掃除活動です。全国のイベント会場で来場者にゴミ拾いを呼びかけ、気軽に楽しく、自分たちの街をきれいにする機会をご提供しています。



ダスキンがイベント会場にクリーンアップブースを出展。来場者にゴミ拾いを呼びかけ、きれいな街づくりのお手伝いをします。

上記イベント情報や環境への取り組みなどをご紹介します。 ダスキンホームページ <http://www.duskin.co.jp>

子どもたちが身近な環境問題やお掃除について楽しく学べます。 ダスキンキッズタウン <http://www.duskin.co.jp/kids>

環境保全活動の歩み

- 1963年 ダスキン創業
クリーンサービス事業（化学ぞうきんレンタルのフランチャイズ展開、工場配置）開始
- 1971年 工場への廃水処理設備配置開始
ミスタードーナツ事業開始（1974年からは陶器・ガラス食器使用）
ケアサービス（サービスマスター）事業開始
- 1973年 全工場に廃水処理装置を導入完了
- 1978年 レントオール事業（総合レンタル）開始
- 1993年 ミスタードーナツで油のリサイクル処分開始
- 1994年 ミスタードーナツがニューフードサービス推進優良事業者表彰で
エコロジカル・フードサービス部門「農林水産大臣賞」受賞
- 1998年 環境理念 環境方針を制定
- 1999年 工場のISO14001認証取得を開始
- 2000年 初の環境報告書「グリーンレポート2000」刊行
ミスタードーナツ事業ISO14001認証取得
- 2001年 クリーンサービス事業（営業部門）ISO14001認証取得
ケアサービス事業ISO14001認証取得
レントオール事業ISO14001認証取得
- 2003年 全工場のISO14001認証取得完了
- 2004年 「ダスキン行動基準（第1版）」を発行（環境への基準を含む）
小学生環境教育の場としての工場見学開催開始（横浜中央工場）
レントオール事業でレンタル介護用品シリーズを本格展開開始
- 2005年 環境管理規程の制定
新・環境方針を制定
京都市都心部グリーン配送推進協議会への協力宣言
大阪ガスと共同環境貢献プロジェクト「D・OGプロジェクト」発足
ダスキングループCO₂削減に向けての基本行動計画決定・発表
- 2007年 リデュース・リユース・リサイクル（3R）推進功労者等表彰で「会長賞」受賞
- 2008年 環境宣言制定

ISO 14001認証



クリーンサービス事業
◎登録対象：
本部と全加盟店、支店（国内）
◎登録日：2001年3月30日
◎登録番号：JQA-EM1483
◎認定機関：
財団法人日本品質保証機構



生産本部
◎登録対象：
生産本部と47総合工場
◎登録日：2000年3月3日
◎登録番号：JMAQA-E095
◎認定機関：
社団法人日本能率協会



ミスタードーナツ事業
◎登録対象：
本部と全ショップ（国内）
◎登録日：2000年4月21日
◎登録番号：JMAQA-E104
◎認定機関：
社団法人日本能率協会



ケアサービス事業
◎登録対象：本部と全拠点
◎登録日：2001年4月27日
◎登録番号：JQA-EM1552
◎認定機関：
財団法人日本品質保証機構



レントオール事業／ヘルスレント事業
◎登録対象：本部と全店舗
◎登録日：2001年7月26日
◎登録番号：JMAQA-E218
◎認定機関：
社団法人日本能率協会

会社概要

社名	株式会社ダスキン【DUSKIN CO.,LTD.】
本社	〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1番33号
代表者	代表取締役社長 伊東英幸
設立	1963（昭和38）年2月4日
資本金	113億5,294万円（2008年3月31日現在）
事業内容	環境衛生商品・日用品のレンタルサービスと販売、 家庭や事業所の環境維持サービス、ドーナツなどの フードサービス、介護サービスなど
株式会社ダスキン売上高	1,670億円（2007年度）
全国チェーン店お客様売上高※	4,524億円（2007年度）
従業員数	1,982人（2008年3月31日現在）

※ダスキン全国チェーン店お客様売上高は、国内外の直営店・子会社売上高および加盟店推定売上高の合計を参考数値として記載しております。なお、上記金額には、SEED RESTAURANT GROUP,INC.および株式会社ヒガ・インダストリーズに係るお客様売上高は含んでおりません。
注.記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

祈りの経営ダスキン経営理念

一日一日と今日こそは
あなたの人生が（わたしの人生が）
新しく生まれ変わるチャンスです

自分に対しては
損と得とあらば損の道をゆくこと

他人に対しては
喜びのタネまきをすること

我も他も（わたしもあなたも）
物心共に豊かになり（物も心も豊かになり）
生きがいのある世の中にする

合掌

ありがとうございました